課題15

* スプリント

スプリントとは、アジャイル開発のひとつであるスクラム開発の基準となる考え方です。スプリントは日本語で「短距離走」という意味があり、スクラム開発では細切れにして開発を行うことを示します。

※<https://products.sint.co.jp/obpm/blog/agile-sprint>

* プロダクトオーナー
* プロダクトオーナーとは、製品開発における方向性を決める責任者を指します。顧客の要望を正確に捉えて、プロダクト（製品）の価値を最大限化させることに責任を持つ職務です。プロダクトオーナーは、主にスクラム開発に標準的な職務として導入されています。スクラム開発とは、ソフトウェア開発において機能ごとに開発とテストを繰り返すアジャイル開発の手法です。スクラム開発は、複数人のチームで役割やタスクを分散しつつ、コミュニケーションを取りながら行われます。そのスクラムチームが、明確な目標を持ってスムーズに作業を進めるためには、プロダクトオーナーの俯瞰的な視点が欠かせません。プロダクトビジョンの定義やニーズの予測、評価などの全般において、プロダクトオーナーの適格な判断が求められます。スクラムチームへ直接オーダーを出すのではなく、ToDoリストとなるプロダクトバックログの作成・管理を徹底するのが重要任務の1つです。そのほか、顧客や関連部署とスクラムマスターとを仲介し、調整を行うケースもあります。

※<https://hnavi.co.jp/knowledge/blog/product-owner/>

* スクラムマスター

スクラムマスターは、スクラムチーム全体の責任者のことです。プロジェクト全体が円滑に進むように取り計らい、チームのメンバーが能力を十分に発揮できるようにサポートします。また、現場とプロダクトオーナーや経営層などとのパイプ役としての役割も果たします。

※<https://products.sint.co.jp/obpm/blog/scrummaster>

* プロダクトバックログ
* プロダクトバックログとは、目標達成に必要なアイテムやフィーチャーを、優先順位をつけてリスト化したものです。一般的に、開発中の製品ごとに 1 つのプロダクトバックログを用意し、そのバックログに 1 つのチームを割り当てることになっています。

プロダクトバックログは、製品をどのように進化させていくかという計画やビジネスゴールです。開発者は、プロダクトバックログアイテムを使って、スピーディに結果を出すことができます。

※<https://abi-agile.com/product-backlog/>

* 振り返り

スプリント (sprint) の振り返りは、アジャイルフレームワークの中で、各スプリントが終わってから行われるミーティングの一種です。スプリントの振り返りでは、次のスプリントに向けて、順調に進んだ作業と改善の余地がある作業について検討します。

※<https://asana.com/ja/resources/sprint-retrospective>